



充実期セミナーがありました。

先週9月28日（木）は2回生を対象にした『充実期セミナー』が行われました。この充実期セミナーは、基礎体験領域でねらう資質・能力の視点から、これまで取り組んできた基礎体験活動のデータを分析し、他者と比較しながら各自の成果と課題を明らかにすることが目的となっています。

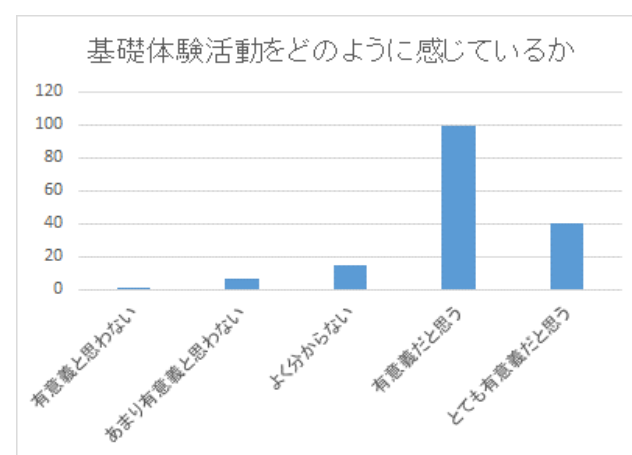
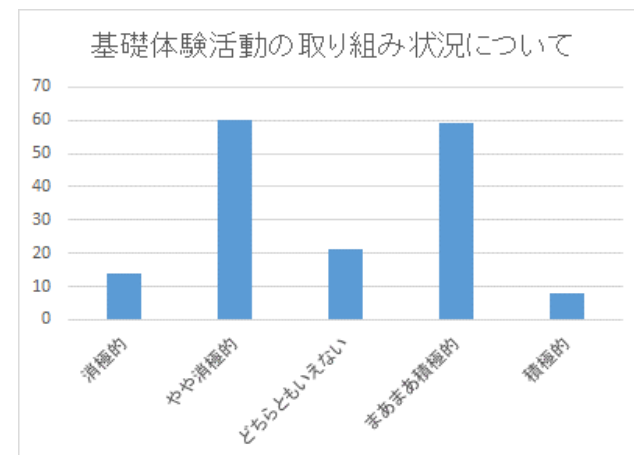


充実期セミナーは35番教室で行われ、166名の2回生が参加しました。セミナーは、体験時間別にグルーピングを行って協議が進められました。最初は、充実期セミナーの概要説明・基礎体験領域における実施状況の確認を全員で行い、その後、グループに分かれて協議を深めていきました。

2回生にとっての基礎体験領域での学びは、自分自身の進路や生き方を決める上で少なからず影響を及ぼすものとなります。充実した体験活動になるように、主体的に取り組む姿を期待します。

充実期セミナーのアンケートより

充実期セミナーを終えた2回生162名に、今年度前期（4月～9月）までの活動を振り返って、答えてもらいました。



2回生は、基礎体験活動の有意義性については、約85%が有意義な活動と回答しました。しかし、基礎体験活動の取り組み状況は、グラフにあるように二極化している実態が見えてきました。2回生になり、既に教育実習Ⅳに参加するために必要な120時間を体験している学生の中には、今年度前期は全く活動を入れていないと答える学生もいました。充実した基礎体験活動にしていくためにも、活動で得られる達成感やお役立ち感を学生が強く感じるこそ必要であると感じました。

2回生の感想より

○2回生があと残り半年になったという中、体験活動の時間数が少ないことに焦りを感じた。本来、余裕を持って活動し、自分のやりたいことや身につけたい力に応じた体験ができれば良かったが、あまり時間もないので活動を選ぶことができないことがもったいないかなと思う。ただ、先輩方のお話からやりたくないと思った活動の中でも得られることや新しい発見があると学んだので、前向きに活動に取り組んでいきたいと思った。

○同じような時間数、状況にある人と話を共有することができたことで、今後の見通しを具体的に描く事ができたのではないかなと思うし、同じような悩みを共有して気持ちも軽くなった部分があると思った。

○自分の活動を客観的に見ることができるよい機会になり、周りの友人の話も聞くことができ、これからの活動も気を引き締めなければならないと感じました。

○他の人の活動やそこで得たもの、子どもや保護者との関わり方への考え方など、たくさんのことが聞けたので、自分の視野が広がりました。また、経験豊富な先輩や先生のお話が聴けて、これからいろいろな活動を頑張ろうと思いました。

○前回の基礎体験交流セミナーから半年が経って、改めて自分のやってきた活動を振り返って、学んだことを考える良い機会になった。また、班の人の活動を聞いて今後の活動に生かしたい点が見つかった。

○自分の言葉にして伝えることができたので、しっかり振り返ることができて良かった。他の人のいろいろな視点を心得ることができ、とても有意義だった。今後も目的を明確にして頑張っていきたいと思った。

○他の人が体験した活動は、自分が今までに参加したことがないような活動も多くあって、そこからどのようなことが学べたかを知ることができたのは良かった。自分が次にそのような活動に参加したいか考える際のヒントになった。

○今年度前期は基礎体験に全く参加していなかったなので、やる気が無くなりかけていた。しかしながら、今回の充実期セミナーでこれまでの自分が体験した活動を振り返ることで、1000時間体験学修の重要性を再確認することができた。

